

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	すうがく	(フリガナ)	うめもとまさる
授業科目名	数学	担当教員名	梅本 克
英文授業科目名	Mathematics		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	水1限/浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	関数、数列、微分		
授業概要・目的	本授業では、現実経済で使われる数学を例にして、高校数学+ α の基礎数学を学ぶ。 高校で学んだ数学を復習し、大学で使用する数学の基礎を習得することを到達目標とする。		
到達度評価の評価項目	授業内容に沿った課題への取り組み姿勢と回答の内容にて到達度を確認する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション		
第2回	数学の学び方		
第3回	1次関数 ①		
第4回	1次関数 ②		
第5回	2次関数 ①		
第6回	2次関数 ②		
第7回	指数・対数 ①		
第8回	指数・対数 ②		
第9回	指数・対数 ③		
第10回	数列 ①		
第11回	数列 ②		
第12回	数列 ③		
第13回	1変数の微分 ①		
第14回	1変数の微分 ②		
第15回	1変数の微分 ③		
教科書・参考書等	「改訂版 経済学で出る数学 -- 高校数学からきちんと攻める」 日本評論社 2013年		
授業で使用する機器等			
予習・復習へのアドバイス	授業への参加および予習・復習のため、テキストは必ず入手すること。		
履修上の注意・受講条件等	課題にはテキストでの自習が必要となる。		
成績評価の基準等	毎週配布する課題で評価する。課題は、授業内で配布される用紙を使用し、翌週の授業内で提出されたもののみ評価対象とする。8回以上の提出がない場合、「未履修」とする。課題は、評価基準に満たす場合のみ「合格」とし、8回以上提出しても「合格」した課題が8回以上ない場合は「不可」とする。		
メッセージ	授業の理解には、課題に取り組むことが必要になる。課題に独りで取り組むことは困難なため、友人との協働作業を勧める。		
オフィスアワー	月水金 13:30~14:30		
その他	参考書:「経済学で出る数学 ワークブックでじっくり攻める」 日本評論社		